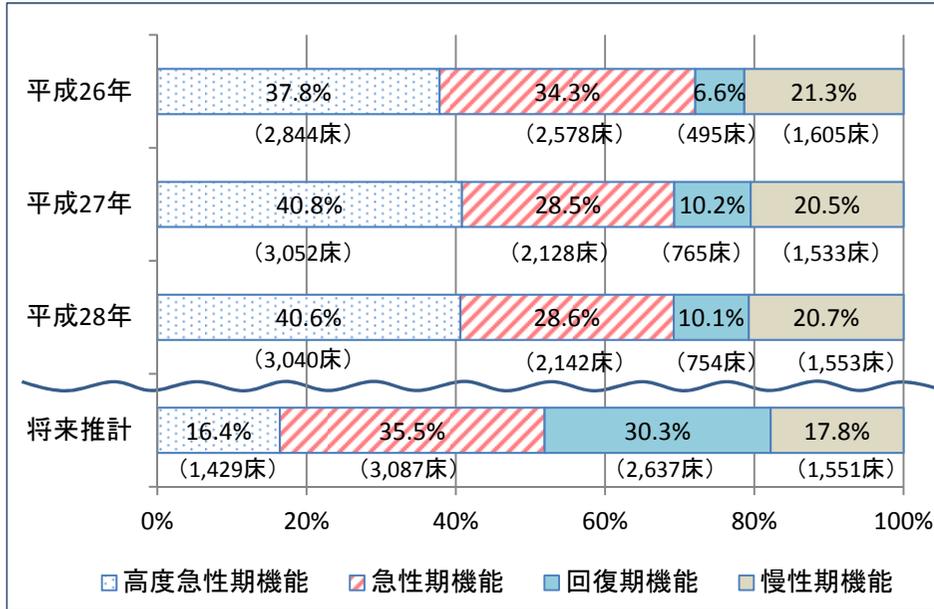
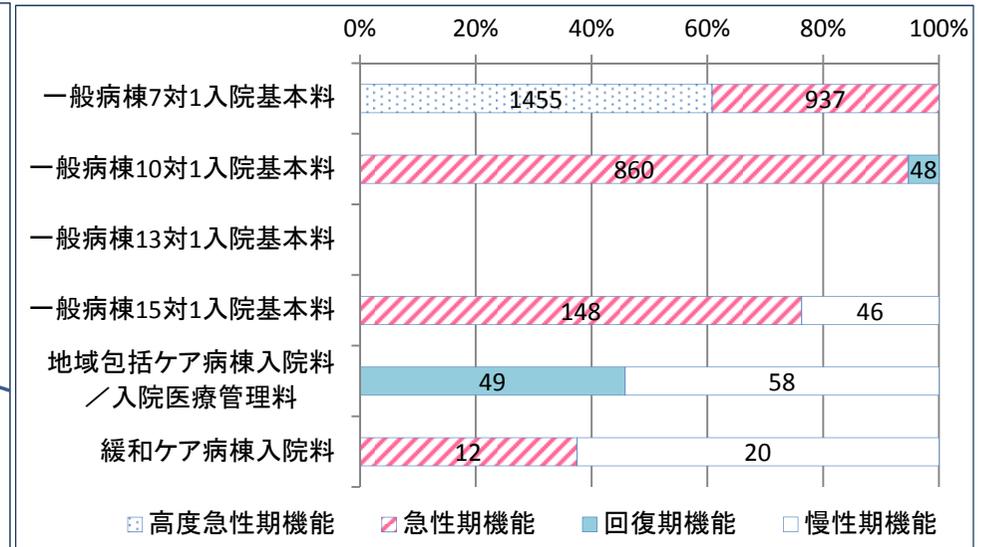


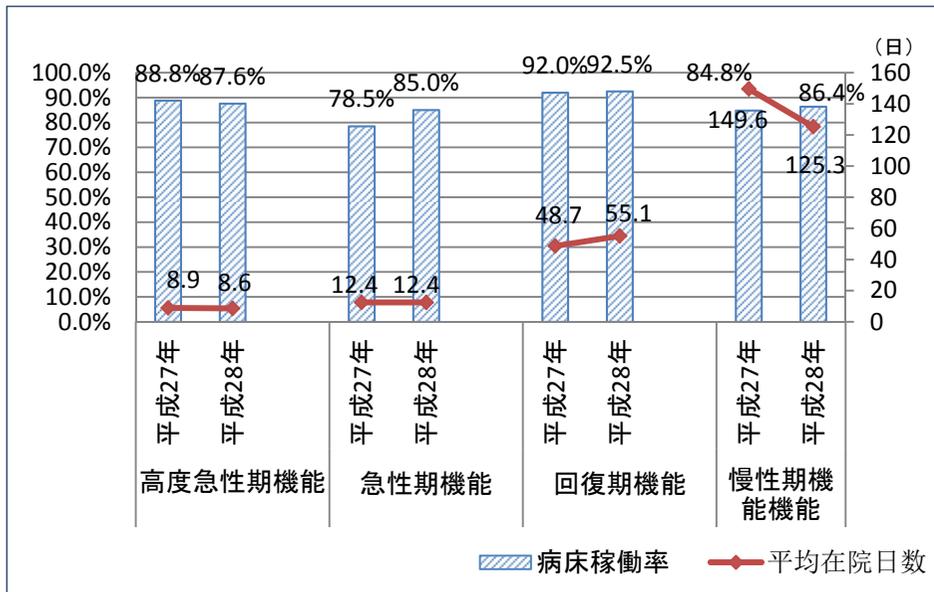
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	4814 (76.3%)	28 (0.4%)	1426 (22.6%)	40 (0.6%)
急性期機能	2631 (79.2%)	49 (1.5%)	347 (10.4%)	294 (8.9%)
回復期機能	280 (68.5%)	22 (5.4%)	101 (24.7%)	6 (1.5%)
慢性期機能	206 (73.8%)	15 (5.4%)	20 (7.2%)	38 (13.6%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 59.0%

- ① H26からH28にかけて、4機能別の報告割合に大きな変動がない
- ② 慢性期機能において、在院日数が短くなり病床稼働率が上がっている
- ③ 7:1病床において、高度急性期機能での報告割合が高い
- ③ 地域包括ケア病棟では、回復期機能と慢性期機能の報告がほぼ均衡
- ④ 高度急性期から回復期機能にかけて、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者の割合が高い